



JTの森 鯉が窪にいま

～JTの森林保全活動について～



希少な湿生植物が自生する鯉が窪湿原。

■森林保全活動に対するJTの考え

JTグループでは、たばこ、医薬、加工食品事業を中心に事業活動を行っています。たばこ事業では、葉たばこ、紙等、加工食品事業では野菜、等の植物を中心とした自然由来の原材料を使用しており、自然の恵みによってJTグループの事業が成り立っています。JTグループでは、事業を支える自然への感謝と、企業の社会的責任の観点から、自然環境保全への取り組みを行っています。

■JTの森 鯉が窪にいまにおける活動内容

JTの森 鯉が窪にいまでは、関係団体や地域の方々と連携し、地域の豊かな水環境を支える森の水源涵養や土砂流出防止の機能をさらに発揮させる活動を行っています。また、鯉ヶ窪湿原を次代に残せるよう、湿原本来の環境の維持と生物多様性の保全に取り組むことで、多様な生きものが暮らす湿原に恵みをもたらす令和の時代に向けた森づくりを目指しています。

■JTの森 鯉が窪にいまの活動経緯



少花粉スギの植栽



間伐・除伐



作業道の修繕

Rethink PROJECT



基盤として地域社会の様々な団体とのパートナーシップ

JTでは、自然・社会・人間の多様性に価値を認め、責任ある地域コミュニティの一員として、「格差是正」、「災害分野」、「環境保全」の三つの領域を重点課題と位置づけ、様々な社会貢献活動に取り組んでいます。また、JTではコミュニケーションワードとして「ひとのときを想う」を掲げ、社会に存在するさまざまな価値感を認め合うために、視点を変えて物事を考えること“Rethink (リシンク)”が大切であると考えています。このJTならではの考え方を、地域の課題解決にも活かすべく、「Rethink PROJECT」を発動させました。このプロジェクトを通じて地域社会が直面している課題に対して、問題意識や解決の意志を持つ方々とパートナーシップを組み、共に考え、共に行動していきます。そして、“Rethinkする”ことで、世の中に存在する様々なモノ・コト・ヒトの価値を認め、お互いを尊重し、理解し合う社会の実現を目指します。

ひとの
ときを、
想う。 JT